

- 問1 九州地方南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大火山による噴火で発生した火砕流などの堆積物が積み重なって形成された台地を何と
いいますか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 扇状地 2. 三角州 3. シラス台地 4. カルデラ
- 問2 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙
開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 屋久島 2. 奄岐島 3. 奄美大島 4. 種子島
- 問3 宮崎市などの九州地方太平洋側において、夏から秋にかけての降水量が福岡市などの日本海側と比べて著しく多くなる背景として、適切な理由
の組み合わせはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. リマン海流の影響、日本海側から山を越えて吹き下ろす乾いた風、および移動性高気圧の通過 2. 暖流である黒潮の影響、南東からの湿った季節風、および台風の通り道にあたること 3. 寒流である親潮の影響、北西からの冷たい季節風、および梅雨前線の長期停滞 4. 対馬海流の影響、南西から吹く乾燥した季節風、およびシベリア高気圧の発達
- 問4 日本の地方別統計において、農業生産額の割合が全国の約20.7%と高く、特に宮崎平野などでビニールハウスを用いた園芸農業が盛んな地域が
あります。この地域で、冬でも温暖な気候を利用し、ピーマンなどの野菜の収穫・出荷時期を人工的に早める栽培方法を何といいますか。
(2015年 大分県公立入試 類似)
1. 抑制栽培 2. 高冷地農業 3. 促成栽培 4. 近郊農業
- 問5 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われていま
す。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試
類似)
1. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。 2. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。 3. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温暖められるため。 4. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。
- 問6 鹿児島市の沿岸部において、1983年には海だった場所が2004年には「みなと大通り公園」や「水族館」が位置する陸地へと変化した。このよ
うな地形の変化をもたらした背景として正しいものはどれか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 地球温暖化の影響で海面が低下したことにより、浅瀬だった場所が自然に陸地化した。 2. 大規模な地震によって地盤が急激に隆起し、海面下だった場所が陸地になった。 3. 火山の噴火によって流出した溶岩が海岸線に到達し、冷えて固まることで土地が広がった。 4. 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。
- 問7 九州地方南部に見られる、火山の噴出物が積み重なって形成された水はけのよい台地の名称として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。
(2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 筑紫平野 2. 秋吉台 3. シラス台地 4. 根釧台地
- 問8 九州地方の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮の影響を強く受けています。この地域の気候の特色を説明した文として、最も適切な
ものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 北西からの季節風の影響で、冬の降水量が非常に多く、雪が降りやすい。 2. 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。 3. 1月の平均気温が0度を下回り、夏は短く涼しいが、冬の寒さは非常に厳しい。 4. 周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく乾燥している。
- 問9 都市の人口構造に関する記述として、那覇市（昼夜間人口比率 約109.6%）と、その隣接する豊見城市（同
約92.2%）の関係性を正しく説明しているものを選んでください。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 那覇市ではドーナツ化現象により夜間人口が急減しており、豊見城市では都心回帰現象により夜間人口が急増している。 2. 那覇市は観光開発によって一時的な滞在者が増えており、豊見城市は農業を中心とした自給自足的な地域である。 3. 那覇市は行政や経済の中心地としての役割が強く、豊見城市は那覇市へ通う人々の住宅都市としての側面が強い。 4. 那覇市と豊見城市の間で、日中の買い物客の移動が双方向に均等に行われていることを示している。
- 問10 日本の4つの道県の農業統計において、農業産出額が約4,800億円と全国上位でありながら、米の産出額が占める割合がわずか4.3%にとどまる
県があります。この県における農業の特徴として正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 広大な平野を活用し、大型機械を用いた大規模な稲作が行われており、農業産出額の半分以上を米が占めている。 2. 都市近郊の立地を活かして、収穫から消費地までの輸送時間を短縮できるコマツナやホウレンソウなどの近郊農業が中心となっている。 3. シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。 4. 気候が温暖な平野部で、冬の暖かさを利用して野菜を通常の時期より早く栽培する促成栽培が盛んに行われている。
- 問11 九州南部の広範囲に見られる「シラス台地」の土壌の成り立ちと性質について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年
沖縄県公立入試 類似)
1. 植物の遺骸が分解されずに堆積した泥炭地であり、湿気が多い。 2. 大昔の貝殻やサンゴが積み重なってできており、アルカリ性が強い。 3. 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。 4. 河川が運んできた土砂が堆積してできており、水分を蓄える力が強い。
- 問12 九州地方の種子島において、宇宙センターの建設やサトウキビの生産といった産業が発達した要因となる、この島の地形的・気候的な背景とし
て最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 島全体に平坦な丘陵が広がっており、大規模な施設の建設や農地の確保が比較的容易であったため。 2. 標高の高い険しい山岳地帯が島の中央にそびえ、宇宙観測に適した気流の安定した環境があったため。 3. 銘柄米の生産に適した広大な平野と、一年を通じて冷涼な気候が維持されていたため。 4. リアス海岸が発達しており、大型船によるロケット機材の搬入や、寒冷な気候を活かした漁業が盛んであったため。